

社会資本総合整備計画 事後評価

令和3年3月1日

計画の名称	1 泉南市公共下水道整備計画 (防災・安全)			
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	泉南市	
計画の目標	下水道施設の長寿命化を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を実現する。 下水道施設の耐震化を行い、震災時の下水道施設の機能維持を図る。			

計画の成果目標 (定量的指標)	ポンプ場における長寿命化事業実施率を0% (H27) から100% (H31) に向上させる。 ポンプ場の建築施設の耐震化を100% (H31) に向上させる。			
-----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考							
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)								
ポンプ場における長寿命化事業実施率 長寿命化事業実施済みのポンプ場数 (箇所) / 長寿命化事業を実施すべきポンプ場数 (箇所)	(計画) 0.0%	—	100.0%								
(実績)	0.0%	—	100.0%								
中部ポンプ場の建築施設の耐震化実施率 耐震化実施済みのポンプ場数 (箇所) / 耐震化事業を実施すべきポンプ場数 (箇所)	(計画) 0.0%	—	100.0%								
(実績)	0.0%	—	0.0%								
全体事業費	計画 実績	合計 (A+B+C)	230百万円 176百万円	A	230百万円 176百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00% 0.00%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
泉南市都市整備部内において事業効果の発現状況、目標値の達成状況を検証し、今後の方針等を検討するとともに評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、市ホームページにて公表した。	令和3年2月
	公表の方法
	泉南市のホームページ上で公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
A07-001	下水道	一般	泉南市	直接	泉南市	ポンプ場	改築	中部ポンプ場長寿命化実施事業	雨水ポンプ	泉南市						176	
A07-002	下水道	一般	泉南市	直接	泉南市	ポンプ場	改築	中部ポンプ場耐震化事業	雨水ポンプ場建築施設	泉南市						0	
小計 (下水道事業)											176						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
																0	
合計											0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		長寿命化事業を実施したことにより、ポンプ場における長寿命化事業実施率が0.0%（H27当初）から100.0%（H31末）に向上し、当初目標値を達成した。 耐震化事業の計画を見直したことにより、ポンプ場における耐震化実施率が0.0%（H31末）のままとなり、目標値を達成出来なかった。			
II 定量的指標の達成状況	指標① ポンプ場における 長寿命化事業 実施率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100.0%		
	指標② 中部ポンプ場の 建築施設の耐震化 実施率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	当初、建築構造物の耐震化を優先的に行う予定であったが、建築構造物と土木構造物の耐震事業を同一に すべく再検討したため。
		最終実績値	0.0%		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針）					
中部ポンプ場における耐震化事業は、現在策定中の下水道施設におけるストックマネジメント計画と併せて進めるべく、計画を進めています。					

